

#編集後記 ボクらのパン。

緊急事態宣言が解除されていない8つの都道府県のうち、
大阪・京都・兵庫の3府県が5月21日に解除されました。

ようやくなのか、もういいの？なのか、いろんな思いがあるとは思いますが、緊急事態宣言が解除に至ったのは、みんなが周りに気を配り、摂生したり犠牲を払ったりして努力したからだと思います。もちろんこれで気を緩めることはできませんが、今はこのひとつの区切りがささやかな喜びではあります。

多くの巣ごもりする人向けなのか、新しい番組やドラマを収録するのが難しいからか、テレビでは過去の放送のダイジェストや再放送が多いようです。

僕もあるドラマの再放送を偶然見て、すっかりハマってしまいました。

約10年前に放送された、「JIN 仁」という現代から幕末へタイムスリップした医師のドラマです。タイムスリップした江戸の町には伝染病の**コロリ**（コレラ）が蔓延していました。

町民たちの不安が広がる中、医師たちが感染を必死に食い止めようとする様は、新型コロナウイルスの感染拡大の不安におびえる今の時世と重なり、胸にせまるものがありました。

ドラマを見てふと思いました。この主人公みたいにもし僕が江戸時代にタイムスリップしたらどうなるんだろうって。だって僕は手に何の技術も持ってないですから。

家族や友達にあきれられるくらい不器用だし、体力もないし、血を見るのもダメな僕は

「切り捨てごめん」なんて場面に遭遇したらきっと卒倒してしまいます。

そもそもウォシュレットが無いだけで絶望して現代に帰りたくなります。

でも、とんでもなく方向音痴だから、現代にはまず戻れそうにもありません。(+_+)

考えてみると、現代の僕が生きていけそうもない時代を、僕のご先祖様は間違いなく生き抜いてきたんですね。江戸時代よりもずっと前の平安時代やもっと前の旧石器時代も、恐竜がいた時代も、その後のあの戦争の時代も。多くの苦難を乗り越え幸運や奇跡もあって先祖が生き抜いてくれたからこそ、今の僕があります。命を紡いでくれたご先祖様には尊敬と感謝しかありません。

僕だけではなく今生きている全ての人の存在は、途轍もない先人たちの苦勞と幸運の積み重ね。

今、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、新型コロナとの戦いが無くなったわけではないし、これからいろんな問題が具現化し、以前の日常に戻るまで険しい道が続くかもしれません。

でも今は僕らがなんとか次の世代に命を紡ぐ番だと思います。頑張らねばなりません。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例である「**緊急雇用調整助成金**」ですが、複雑でわかりづらく、また五月雨式に要件や申請書式が変わりましたが、ずいぶん簡略化され申請しやすくなりました。

厳しい経済情勢の中、雇用を維持してくれる会社に支給しようという助成金です。事務所通信にも「雇用調整助成金の特例措置」の記事を掲載しました。大切な会社を次の時代につなぐためにもぜひご検討ください。

先日、近所のスーパーでのこと。入り口の消毒液のポンプを2回プッシュした幼児に慌てて駆け寄って「ダメよ、ひとり1回だけ。」と注意するお母さん。照れ笑いをしてお母さんに謝る

子の姿がまたかわゆい。ここにもしっかりと命を紡いでくれている人がいる。●^o^●

とるに足らないことですが、何だか嬉しく思いました。

そういや、6月は父の日。宮崎の父に感謝のプレゼントを考えなくちゃね。(^^)!



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com

